



とっとり 県政だより

Tottori Prefectural Newsletter

2023 2

特集 P2

誰もひとりじゃない

孤独・孤立を防ぐ地域の「支え愛」

P5・6 県政トピックス

- ねんりんピック来秋に開催
- 地方からビジネス創出を
- 専門家による不妊治療セミナー

DATA

県人口/542,852人
(男 259,663人、女 283,189人)
世帯数/221,536世帯
(2022年12月1日現在推計)

県からの
お知らせ

冬季は入浴中の事故にご注意を！

県内では交通事故の4倍以上に当たる、年間約100人が入浴中に命を落としています。毎日の入浴習慣を見直して事故を防ぎましょう。

- 入浴前に脱衣所や浴室を暖めておきましょう
- 入浴は41度以下で10分以内が目安。長湯は禁物です
- 浴槽から出る時はゆっくり立ち上がりましょう
- 浴室内に手すりを設置しましょう
- 食事直後・飲酒後・医薬品服用後の入浴は控えましょう
- 同居家族がいる場合はひと声かけてから入浴しましょう

問 県庁健康政策課 ☎ 0857-26-7227 📠 0857-26-8726



不登校やひきこもり、発達障がいなどの支援に取り組むピアサポートつむぎ(倉吉市)。困り感を抱える子ども・若者やその家族が、安心して集い、相談できる居場所づくりを行う



@tottoripref



@tottori_kouhou



@tottori.pref.kouhou

誰もひとりじゃない

孤独・孤立を防ぐ地域の「支え愛」

社会の変化に伴い、さまざまな困難を抱える人が孤独を感じ、孤立していることが問題となっています。県では、こうした人々を地域の力で支える条例を新たに制定。

「支え愛」の心で、誰一人取り残さない社会を目指します。



苦しむ人見えづらい社会に

あなたは近所に暮らす人々のことをどのくらい知っていますか。自分や家族の悩みを相談できる人が身の回りにいますか。

時代の変遷に伴い、私たちの生き方や価値観は大きく変わりました。仕事や学業の都合で親族と離れて暮らすことが一般的となり、働き方やライフスタイルも多様化。少子化・非婚化も進み、今や社会の9割を占めるのは核家族・単身世帯です。近所付き合いが減り、多くのことが個人の選択に委ねられるようになりました。

しかし、個人が尊重される自由な社会の裏では望まぬ孤独・孤立に苦しんでいる人もいます。特に家庭内の問題は「身内のことは身内」といった意識も相まって、当事者の中で抱え込んでしまいがち。インターネットで世界中の人とつながり合える一方、すぐそばで困難を抱える人の姿が見えにくくなっているのです。

本人も家族も一緒に支える

少子高齢化や核家族化の進行は県内でも深刻な影響を及ぼしています。その一つがヤングケアラー（※）。県の実態調査では、およそクラスに1人の割合の子どもが、学業や生活への影響を受けながら家族のケアを担っていることが分かりました。また、自宅に引きこもったまま本人も親も高齢化する「8050問題」も社会的な課題。県の調査でも、こうした人の多くが外部の支援を受けていないことが見えてきます。その他にも認知症の介護や難病・障がいへのケアを行う家庭など、支援を必要とする人は決して少なくありません。

昨年12月に制定された「鳥取県孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進条例」は、こうした人々を誰一人取り残すことなく、行政と地域が連携して支えることを目指す新しい条例。本人と家族を一体的に支援することを定めた全国初の取り組みです。

(※)本来大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと





鳥取県孤独・孤立を防ぐ 温もりのある支え愛社会づくり 推進条例

ヤングケアラー・産後うつ・老老介護・8050問題など、助けを必要とする人々やその家族を地域の絆で支える条例です。



県や市町村は	<ul style="list-style-type: none"> ● 関係機関や民間団体等と連携して情報提供や必要な支援を行います ● 既存の制度のほか、包括的な相談体制の整備や地域の資源を活用した支援などに取り組みます
県民や事業者等は	<ul style="list-style-type: none"> ● 困難を抱えるさまざまな人への理解を深め、見守りや声かけを行います ● 支援が必要な人がいたときは、本人の意思を尊重しつつ、配慮や手助けなどを行います
支援を進めるために	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政や関係機関・支援団体は、法律や本人の同意に基づいて個人情報を共有し、必要な支援を行います ● 新たに「孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり審議会」を設置し、取り組みの推進や検証などを行います

例えば…こんな取り組みを進めます

- 相談窓口などの情報を広くPRします
- 関係者のネットワークで地域の連携を深めます
- さまざまな手法を活用して相談支援体制を充実させます
- 当事者の自助グループを育成し、ピアサポートを進めます
- 支援に関わる人材の育成を進めます
- 地域や学校、職場の研修などを通じて広く普及啓発を行います

子どものSOS 気付ける地域に

N.K.Cナーシングコア
コーポレーション合同会社 代表

かんべ たかこ
神戸貴子さん



介護事業を営む神戸貴さんがヤングケアラー支援に立ち上がったのは、ある若者ケアラーとの出会いがきっかけ。神戸さん自身が若くして介護に苦しんだ経験と重ね、「ケアが全てに優先される状況は、子どもたちの可能性や将来を狭めることになる」と危機感を抱きました。

今年度から県の委託を受けたLINE相談では、半年間で66人の中高生、20代ケアラーの相談や問い合わせに対応。内容は介護の問題に加えて家族関係の悩みや学校・就職の不安など多岐にわたります。「夜中に家族に知られずやり取りできることが、相談しやすさにつながっている」と話す神戸さん。看護師や介護士の資格を持つ相談員が、関係機関とも連携しつつ多様な悩みを受け止めています。

少子化が進み、近所付き合いも減少した現代。神戸さん

は「昔と違って今はたくさんの兄弟と負担を分担できなくなっている。地域の人間関係も薄れ、子どもの様子に気を配る大人が少なくなっている」と指摘し「ヤングケアラーの問題は決して人ごとではない」と強調します。全ての子どもは将来社会の大切な担い手。ケアのために進学や就職を断念するような状況は、地域の未来にも影響する深刻な課題です。「大人が子どものSOSに気付いてあげられるよう、まずは挨拶から始めて」と話す神戸さん。「おはよう」「今日も寒いね」そうした日々の何気ない声かけが、子どもを支える見守りの一歩となります。



LINE相談は、毎日午後6時から11時まで対応

当事者目線で 寄り添い支える居場所



特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ

理事長

かわもと じゅんこ
河本純子さん

副理事長

えんどう あきこ
遠藤明子さん

発達障がい親の会を運営する河本純子さんと不登校の親の会を運営する遠藤明子さんがタッグを組み、支援環境の充実を目指して設立したのが「ピアサポートつむぎ」です。目標は、生きづらさを抱える子どもや若者に安心できる居場所を提供し、家族も含めた相談支援や学習・就労サポートを行うこと。福祉や教育の知見を持つ多数のスタッフが参画し、親子の学びや相談の場を提供しています。「誰にも相談できず、学校や周りとの関係に悩む親も多い。そうした親を支える場所はこれまでなかった」と話す遠藤さんをはじめ、スタッフの多くは同じ経験を持つ当事者。言葉にできない不安や迷いも痛いほど理解できます。自らもつらい経験をしたからこそ、当事者目線の支援の必要性を強く感じていた遠藤さん。「この条例が同じ思いを持つ人たちの活動を広げるものになれば」と語ります。

また、発達障がいや不登校支援の啓発に取り組む河本

さんは、地域での講演の際、「実は知り合いも…」といった声の多さに驚いたといいます。「同じような悩みを抱える人は少なくない。皆が正しい理解を持てば、『おかしい』『怠けている』と決め付けず、優しく見守ることができるはず」と話す河本さん。支援者と学校・行政がしっかり連携して当事者を支える、それを地域が温かく受け入れる。この条例がそうした社会づくりの始まりになることを願っています。



つむぎは不登校等に悩む子どもや家族の居場所。親同士もつながり、情報交換や相談を行うことができる(写真上)。子どもたちは本を読んだり、皆でゲームをしたり、好きなように過ごすことができる(写真下)

悩みは一人で 抱えず相談を

県のウェブページでは、さまざまな困り事の相談窓口を紹介しています。誰かに話すことで、気持ちが整理されることもあります。ぜひご利用ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/301076.htm>



誰一人取り残さない 「支え愛」

条例の目的は、支援を必要とする人・家族が、地域で孤立したり孤独を感じることなく、周囲の人々とつながり、温かく支えられる社会づくりを進めること。このために県や市町村は、必要な支援や情報を届け、相談しやすい環境を整備し、サポートを行う人材の育成などを行います。県民や事業者には、困難を抱える人々へ見守りや声かけを行うことなどが求められます。

人と人との絆の深さは、小さな県だからこそその強み。誰もが安心して暮らすことのできる社会には、一人一人の温かな思いやりが欠かせません。「支え愛」は、互いに助け合い、共に生きる社会を目指す合い言葉。ぜひあなたの身の回りの人々に心を配り、助けを必要とする声に手を差し伸べてください。

岡山県庁福祉保健課

☎ 0857・266・71158

☎ 0857・266・81116

✉ fukushihoken@pref.tottori.lg.jp



いくつになっても“生き生き”と ～ねんりんピック来秋に開催～

○鳥取県発祥のバウンズボール



はつらつとプレーを楽しむ倉吉バウンズボール同好会のメンバー

バウンズボールはバドミントンコートに高さ75センチの低いネットを挟んで、3人1組で柔らかく軽いボールをバウンドさせながら手のひら(アンダー)で打ち合うスポーツ。子どもから高齢者まで、幅広い年代に親しまれています。

1990年代初めに、鳥取市の体育指導委員(現スポーツ推進委員)が、「スポーツが苦手な人や体を動かすのが困難な人でも、何歳になっても楽しめるスポーツを」と考案したのが始まりです。

倉吉バウンズボール同好会は60代から89歳まで約20人が所属し、倉吉市内の体育館で活動しています。常に和やかな雰囲気、失敗しても互いに笑顔でフォロー。年代によってバウンド数を変えるなど、誰もが楽しめるようにルールにも配慮がされています。



倉吉バウンズボール同好会代表
井崎瑞枝さん

89歳になりますが、バウンズボールをしているおかげで元気に過ごせています。簡単で楽しいスポーツなので、ねんりんピックを機に全国に広まってほしいです。

高齢者など誰もが「生き生き」と暮らすことができる社会の実現を目指し、「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」(第36回全国健康福祉祭とつとり大会)が2024年10月19日(土)から22日(火)まで、鳥取県で初開催されます。全国から集う選手の躍動が期待されます。60歳以上を主な参加者とするねんりんピックは、選手や出演者、一般来場者を含めると延べ約40万人が参加する大イベント。

とつとり大会では、スポーツ交流大会10種目、ふれあいスポーツ交流大会13種目、文化交流大会6種目の計29種目を県内全市町村で開催。eスポーツと鳥取県発祥のバウンズボールは、ねんりんピックの初開催種目として採用されました。幅広い年代が楽しめる美術展や音楽文化祭、地域文化伝承館など、健康や文化に関連したイベントも予定されています。ボランティアとしても参加でき、世代や地域を超えた交流の輪の広がりが期待されます。発信される情報に注目しながら、大会を盛り上げていきましょう。

SNSで大会情報発信

SNSで随時情報更新中!

Instagram



Twitter



フェイスブック



大会PRキャラクター「あおやかみじろう」

鳥取市の青谷上寺地遺跡出土の人骨から復顔され話題になった弥生人「青谷上寺朗」。彼をモチーフにして生まれた「あおやかみじろう」が、約1,800年の時空を超えて復活した弥生人パワーで、ねんりんピックを元気いっぱいに応援します。



▶ 問 県庁ねんりんピック・関西ワールドマスターズゲームズ推進課
☎0857-26-7908 F0857-26-8129
✉nenrin-wmg@pref.tottori.lg.jp <https://www.pref.tottori.lg.jp/nenrin-wmg/>





ネクスト・イノベーター・サミット ～地方からビジネス創出を～

○ネクスト・イノベーター・サミット

2月15日(水) 午後1時
とりぎん文化会館(鳥取市)

【主催】

鳥取県、一般財団法人自治総合センター

【トークセッション】

落合 陽一さん(メディアアーティスト)

●テーマ

「人口最少県に見る地方の未来(仮)」



落合 陽一さん
※オンラインで登壇予定

【パネルディスカッション】

登壇者

呉 琢磨さん(株式会社ニューズピックス)
鳥取県ゆかりの起業家・経営者4名

新たな戦略を模索する県内企業経営者・社員から、社会課題の解決や地方の未来について関心のある学生まで、幅広い皆さんの参加をお待ちしています!

▶▶ 県庁産業未来創造課

☎0857-26-7246 F 0857-26-8117

✉sangyoumirai@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/308699.htm>



新事業の創出や社内変革に取り組み人材の育成を目指す「ネクスト・イノベーター・サミット」が2月15日(水)、鳥取市で行われます。メディアアーティストの落合陽一さんをはじめ、県内外で活躍する起業家らが自らの取り組みや地方の可能性について発信します。

人口減少が進む鳥取県は、全国に先駆けて少子高齢化や資源・エネルギー問題に取り組む必要のある「課題先進県」。ビジネスに新たな価値を生み出す人材が必要とされています。サミットには落合さんがオンライン出演し、参加者を巻き込んでトークセッションを展開。県内外で活躍する鳥取ゆかりの起業家・経営者は新たなビジネス創出に必要な視点を提示します。新しい経営戦略を模索しているビジネスパーソンや、将来に悩む若者に、力になるメッセージを送ります。

妊娠の仕組みからストレスケアまで ～専門家による不妊治療セミナー～

○妊活webセミナー(受講無料)

【配信期間】3月13日(月)～26日(日)

【テーマ】「生殖医療保険適用の光と影」

【講師】ミオ・ファティリティ・クリニック院長 見尾 保幸さん

【申込期間】3月1日(水)～10日(金)

【申し込み・問い合わせ】

配信希望は電子メールでお申し込みください

西部不妊専門相談センターはぐてらす

✉info@hug-terrace.com ☎0120-087-415

○不妊・不育の相談は不妊専門相談センター

※電話・面接・メール相談

・東部不妊専門相談センターはぐてらす(県立中央病院内)

・西部不妊専門相談センターはぐてらす

(イオンモール日吉津店内)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/80866.htm>



▶▶ 県庁家庭支援課

☎0857-26-7687 F 0857-26-7863

✉kateishien@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/80854.htm>

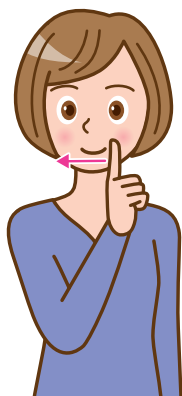


不妊治療の経済的負担を軽減するため、保険適用外となる治療を選択した場合にも(費用の一部を助成するなど、独自の支援を行っている鳥取県。不妊治療について学ぶ妊活ウェブセミナー「もっと知りたい不妊治療」を3月13日から26日まで、YouTubeで配信します。

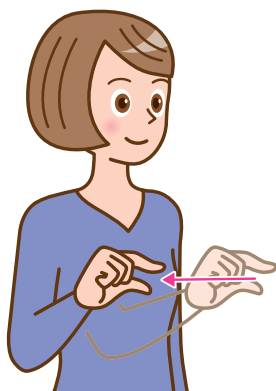
クリニック(米子市)院長の見尾保幸さんが「生殖医療保険適用の光と影」をテーマに講演。昨年4月から始まった生殖補助医療の保険適用について、その利点や課題について解説します。身体的な苦痛や精神的な落ち込みを伴うことも多い不妊治療。当事者だけでなく、周囲の理解やサポートも必要です。県内2カ所の相談窓口では、不妊に関する悩みや不安に寄り添います。



手話を覚えてみよう▶▶「パスワード/暗証番号」



立てた右手人さし指を口の左側から右側へ動かす、



前に向けて2指の指間を狭めた右手を左から右へ動かす

ウェブサイトの利用料金の架空請求やオンラインバンキングのパスワード変更を求める偽メール、偽のショッピングサイトなど、身近なところでサイバー犯罪は起こります。正しい知識と対処法を学びましょう。

スマートフォンのセキュリティ対策やオンラインゲーム、不当請求などのトラブルを題材にした「ぱとろーくんクイズ」に挑戦してみよう。解答には、実際の相談事例や対処法などが詳しく解説されています。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/195525.htm>



監修／公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
☎0859-30-3720 F 0859-30-3131 <https://torideaf.jp/>



読者の声

(12月号の意見・感想から)

- 家族が軽度認知障害と診断され7年経ちますが、認知症に進行していません。早期対応が良かったと思います。(60代)
- 小学生の古着リサイクルの取り組みが素晴らしい。自分も出来るSDGsやろうと思います。(40代)
- 「ギフ鳥」で地元鳥取を支援したい。全ての世代が力を合わせて鳥取を盛り上げられたらいいですね。(20代)
- ハマっているドラマの影響で手話を勉強しています。「もったいない」を覚え、子どもと手話で会話しています。(30代)
- みらくポトフは牛乳嫌いの夫もおかわりしていたので、定番メニューにしようと思います!(20代)



12月号には1,803人からご意見をいただきました。ありがとうございます。これからもご意見、ご感想をお待ちしています。



県産品プレゼント

モチキューブ 「MOCHI cube 生チョコ」(5個セット)【5名】

キューブの形状を保ちつつ、冷やしてもとろけるような食感と、究極の柔らかさを追求した四角い生クリーム大福。餅の周りにはココアパウダーをまとい、大山乳業の高脂肪生クリームや高品質の生チョコなど、厳選素材を使用しました。

☎ 宝月堂(鳥取市二階町) ☎0857-22-3745



高齢者が元気に活躍できる社会を目指し、2024年に鳥取県で「〇〇ピック」が初開催されます。〇に入るのは次のうちどれでしょう

ヒントは5頁

- ①ねんりん ②オリン ③トットリ

【応募方法】

クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、年齢と「県政だより」を読んだ感想・意見をお書きの上、次のいずれかの方法でご応募ください。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。はがきなどに書かれた個人情報、感想・意見は、プレゼントの発送と「県政だより」記事作成の参考として使用し、これらの目的以外には使用しません。

■ 応募締め切り 2月20日(月)必着



- はがき 〒680-8570 鳥取県広報課「県産品プレゼント」
- 電子メール dayorip@pref.tottori.lg.jp
- 県ウェブページ応募フォーム <https://www.pref.tottori.lg.jp/dayorip/>

◎1月号のクイズの答えは「①思いやり」でした。

低カロリーで
大満足のボリューム /

豊富な栄養・手軽に摂取
みるくレシピ



ヘルシー豆腐グラタン

【材料】(2人分)

- 豆腐……………200g
- ほうれん草……………1/2束
- しめじ……………1/2パック
- 玉ねぎ……………1/2個
- ベーコン……………2枚
- バター……………10g
- 塩、こしょう……………各少々
- 粉チーズ……………適量

【ホワイトソース】

- 牛乳……………400ml
- バター……………40g
- 小麦粉……………40g
- 塩……………少々

【作り方】

- ①豆腐はキッチンペーパー等に包んで水きりし、ひとくち大に切る。
- ②ホワイトソースを作る。熱したフライパンにバターを入れて溶けてきたら、振っておいた小麦粉を入れ素早く混ぜる。牛乳を少しずつ入れて固まりができないようによく混ぜ、塩で味付けをする。
- ③玉ねぎは縦に薄切り、しめじは石づきを取り小房に分ける。ほうれん草は3等分くらいに切り、ベーコンは細切りにする。
- ④フライパンにバターを熱して玉ねぎを炒め、しんなりしたらベーコン・しめじ・ほうれん草を加えて炒める。塩とこしょうで味を整える。
- ⑤④にホワイトソースの半分と豆腐を混ぜ合わせる。
- ⑥⑤を耐熱皿に入れ、残りのホワイトソースを上のにせて粉チーズを振り、230～250℃のオーブンで7～8分焼く。

【協力】大山乳業農業協同組合

県からの
お知らせ

日曜労働相談会の開催 無料・予約制


解雇・配置転換や嫌がらせなどの職場の悩みに、労働問題に詳しい専門家が対応します。労働者・雇用主、どなたでも相談できます。

日 3月5日(日) 午前10時～午後3時

所	東部	県民ふれあい会館(鳥取市扇町)
	中部	県立倉吉未来中心(倉吉市駄経寺町)
	西部	国際ファミリープラザ(米子市加茂町)

◎申込期限 / 3月1日(水)午後5時15分
◎申込方法 / 電話または「とっとり電子申請サービス」

問 労使ネットとっとり(鳥取県労働委員会 個別労使紛争解決支援センター)
☎ 0120-77-6010
<https://www.pref.tottori.lg.jp/roui/>




鳥取県後期高齢者医療懇話会 委員募集

後期高齢者医療制度の運営について意見交換を行う懇話会の委員を募集しています。募集要項は市町村役場のほか、ウェブページから入手できます。

- 応募資格 / 鳥取県後期高齢者医療の被保険者
- 募集人数 / 6人以内
- 任期 / 令和5年4月1日から令和7年3月31日まで
- 応募方法 / 郵送、ファクシミリ、持参または電子メールで応募書類を提出
- 応募期限 / 3月15日(水)必着

問 鳥取県後期高齢者医療広域連合
☎ 0858-32-1097 F 0858-32-1067
✉ kourei@koureikouiki-tottori.jp
<http://www.koureikouiki-tottori.jp>



2023年2月完成!

とっとり企業ガイド2023

330社以上掲載する鳥取県の企業情報ツール決定版!

オンリーワン技術で業界から注目を集める企業や、高いシェアを誇る企業等魅力的な企業等を紹介! ぜひアクセスしてください!

Web版は企業紹介動画をYouTube で視聴できる!

企業研究にちょうどいい情報量で、企業HPへもアクセスできるから、効率的!

大手就職サイトにはない企業と出会えた!

就活中の方に無料で活用!

冊子の入手方法
右の二次元コードでWEB版にアクセスし、サイト内の申し込みフォームからお申し込みください。
1月31日までは2022年版を表示

お問い合わせ先 公益財団法人 ふるさと鳥取県定住機構
鳥取県鳥取市扇町115-1 TEL.0857-24-4740 とっとり定住 検索

2月は
「相続登記はお済みですか月間」

相続登記は司法書士におまかせください

- 鳥取県内の司法書士が、2月中、各事務所にて相続登記に関する無料相談を実施します。
- 毎週月曜から金曜(午後1時～午後4時)の電話相談(☎0857-27-4165)を実施しています。

鳥取県司法書士会 検索

お問い合わせは 鳥取市西町1丁目314-1
鳥取県司法書士会 ☎0857-24-7013

※広告は広告主の責任において掲載しています。広告内容などを県が推奨するものではありません。